

公開講座 1

2025年11月4日(火)

17:30-19:00

やわらかい社会の つくり方

講師 小山田徹 (芸術家、京都市立芸術大学学長)

会場 京都市立芸術大学 C棟1階 講義室1



公開講座 2

2025年11月19日(水)

17:30-19:00

土地の語りに 耳をすます



講師 山本麻紀子 (アーティスト、崇仁すくすくセンター実行委員会委員長)

中野裕介 / パラモデル (アーティスト、京都精華大学芸術学部教授)

会場 京都市立芸術大学 C棟1階 講義室1



〈関連プログラム〉

「Weekend Café + 崇仁すくすくセンター 横断幕ワークショップ」

2025年11月26日(水) 13:00-15:00

講師 小山田徹、山本麻紀子 会場 @KCUA 南側の半屋外(C棟とD棟の間)

参加無料

予約不要 (当日先着順に受付)



京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts



京都市立芸術大学
芸術資源研究センター



公益財団法人
世界人権問題研究センター



公益財団法人
小笠原敏晶記念財団

2025年度

芸術資源研究センター公開講座

「芸術と人権」

公開講座 1

2025年11月4日(火) 17:30-19:00

やわらかい社会のつくり方

講師 小山田徹 (芸術家、京都市立芸術大学学長)

小山田徹学長は焚き火場や屋台などのアートプロジェクトを通して、多様な人々が集う場づくりを実践してきました。2025年4月学長就任後も、ウィークエンドカフェや地域と大学が一丸となって取り組む「たがやし」プロジェクトなど、芸術を入口とした多様性を受け入れるやわらかいコミュニティのあり方について実践を続けています。小山田学長の数々の実践をもとに、やわらかい社会のつくり方についてお聞きます。

小山田 徹 Toru KOYAMADA

1961年鹿児島県生まれ。1981年に京都市立芸術大学入学、日本画を学ぶ。在学中に友人たちとパフォーマンスグループdumb typeを立ち上げ、国内外での公演に数多く招かれる。活動の中で、メンバーのHIV感染とエイズ発症を機に、さまざまな社会活動と表現のありかたを試すことになり、1998年頃から、共有空間の獲得をテーマに活動を行う。焚き火場などさまざまな人々が集い、交流する空間や時間を開発し、社会実装を試みている。2010年から本学の彫刻の専任教員となる。2021年10月から美術学部長、2025年4月から現職。

聞き手 佐藤知久 (京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授)



〈関連プログラム〉

「Weekend Café+崇仁すすくセンター 横断幕ワークショップ」

2つの活動を学内で同時開催し、〈場〉と〈事〉を共有していく実践によって「芸術×人権」の関係を考えるきっかけにします。2つの活動と合わせて、「たがやし」プロジェクトで崇仁児童館が育成中の野菜プランターもやってきます！

●小山田徹「Weekend Café(ウィークエンドカフェ)」: 多様な人々がゆるやかに集うことのできる共有空間が学内に出現します。

●崇仁すすくセンター「大きな作品シリーズ」: 開発にともない地域住民のつながりの希薄化が課題となっている崇仁地域において、制作しながら居場所や拠り所となる場や機会を創出します。

本連続講座は、移転を契機に本学キャンパスに内包された世界人権問題研究センターと芸術資源研究センターが協働し「芸術と人権」の関わりを積極的に見つめ直すことを目的に始めました。第1回目の講座は2025年1月に朴実(パク・シル)氏を講師に迎え「共に生きる社会を求めて～東九条マダンに託す願い～」と題して行いました。今年度は、2つの講座と1つの関連プログラムを開催します。

公開講座 2

2025年11月19日(水) 17:30-19:00

土地の語りに耳をすます

講師 山本麻紀子 (アーティスト、崇仁すすくセンター実行委員会委員長)

中野裕介／パラモデル (アーティスト、京都精華大学芸術学部教授)

アーティストが地域をリサーチしていく中で、土地の古い層に眠るような物語に出会うことがあります。「崇仁すすくセンター(挿し木プロジェクト)」の活動をきっかけに、山本麻紀子さんは崇仁地域で踊り念仏を広めた一遍上人の人物像についてリサーチを始めました。一方、中野裕介さんは、説経節から能まであらゆる古典芸能で変奏される「俊徳丸／弱法師」の語り物にインスピレーションを受け、独自の表現世界を広げています。アーティストたちを惹きつける地霊(ゲニウス・ロキ)の語りから、時代ごとに周縁で力強く生きてきた人々の声に耳を傾けてみます。

山本麻紀子 Makiko YAMAMOTO

1979年京都市生まれ。2005年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻構想設計修了。ある特定の場所について観察や考察を続け、その場に関わる人々とのコミュニケーションの在り方を考えるプロジェクトを行う。その一連の過程を、絵、写真、映像、ドローイング、染め、刺繍など様々な形で作品制作を行う。2012年～巨人伝説を軸にしたプロジェクトをライフワークとして継続中。2016年に京都の東九条で「植物」の世界に出会い、以降「植物」に着目した活動を展開している。



中野裕介／パラモデル Yusuke NAKANO / PARAMODEL

1976年東大阪生まれ。2002年京都市立芸術大学大学院 絵画専攻(日本画)修了。03年同大学の林泰彦とユニット「パラモデル」結成。二人のメタフィジカルな「模型遊び」をテーマに多様な形式の作品を発表。11～17年の図書館勤務を経た現在のソロ活動では、描画やテキスト・空間表現を軸に、文学・哲学・マンガ・建築・郷土文化・古典芸能など、古今の書物を横断し、題材とする創作を続ける。京都精華大学芸術学部教授。



日時 2025年11月26日(水) 13:00-15:00

会場 @KCUA 南側の半屋外(C棟とD棟の間)

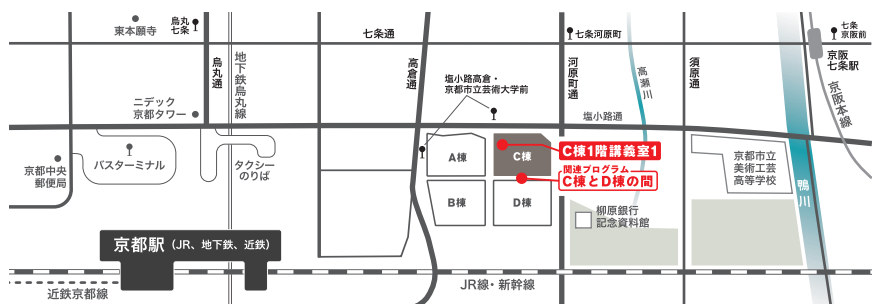
講師 小山田徹、山本麻紀子

作業内容 布製の横断幕(110cm×10m)に針と糸を使ってパーツを縫い付けます。

見学(おしゃべり)のみの参加も大歓迎。

公開講座 会場 京都市立芸術大学 C棟1階 講義室1

京都市下京区下之町57-1



アクセス Access

- 地下鉄丸太線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車、JR京都駅中央口から徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- 市バス4・7・16・81・205・南5号系統「堀小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

大学内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場願います。

場内誘導や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の3日前までに芸術資源研究センターまで御相談ください。御希望に沿うような可能な限り対応いたします。

* 中野裕介「俊徳丸の模型(よろぼう少年)」《かしこい犬の模型(よろぼう犬)》
(2015、高松市美術館所蔵) courtesy of MORI YU GALLERY